

平成21年度

第2回 三次市地域公共交通会議

資料

平成21年8月28日
三次市地域公共交通会議

もくじ

1 報告事項

- (1) 三次市地域公共交通総合連携計画策定調査委託業務の業者選定結果について

2 協議事項

- (1) 「甲奴・三次線」公共交通導入試験運行について

- ア．試験運行の結果について
- イ．今後の方針（案）について

- (2) 三次市地域公共交通総合連携計画策定調査委託業務について

- ア．調査の目的とフロー（案）について
- イ．調査の進め方（案）について
- ウ．調査のスケジュール（案）について
- エ．その他

- (3) その他

3 その他

1 報告事項

(1) 三次市地域公共交通総合連携計画策定調査委託業務の業者選定結果について

平成21年6月26日(金)みよしまちづくりセンターにおいて「三次市地域公共交通会議幹事会」を開催し、受託希望事業者5社からの企画提案書・見積額及び同内容のヒアリングを行い、審査・選定した結果、次の事業者に業務委託することに決定しました。

事業者名 株式会社地域未来研究所 中国四国事務所(広島市南区的場町)
委託金額 6,800千円
主な実績 大竹市地域公共交通総合連携計画策定業務
木津川市地域公共交通総合連携計画策定業務
竹原市における持続可能な公共交通構築モデル事業 ほか

2 協議事項

(1) 「甲奴・三次線」公共交通導入試験運行について

ア. 試験運行の結果について

平成21年4月6日(月)から「甲奴・三次線」公共交通導入試験運行については、次のとおりです。

運行継続基準 平均乗車密度 2.0 以上
試験運行実績 別紙資料 1 のとおり



【評価・検証】

この路線利用のターゲットとして、当初、想定していた通学での利用がほとんど見られない結果となりました。

対象となる生徒の保護者等に直接、聞き取りを行ったところ、「料金が高い」ことが利用したいができない理由でした。

運賃設定は、既存路線や他の便との整合性を考慮し、可能な限り低料金に設定していますが、JR運賃と月額1万2千円程度の差があり、開校時間にあわせる時間的優位性をもって、この歴然とした差は埋められなかった認識しています。

また、高齢者を中心とした通院での利用についても、現在の診療体系により市立三次中央病院が地域基幹医療機関的なものと位置づけられ、地域の開業医による予約診療に移行している状況で、以前のように早朝から受付順にて診察待ちをする状況が解消されつつあります。

このような理由から、若干の利用は見られるものの、運行継続基準平均乗車密度2人以上をクリアできる利用者がいない状況となっています。

イ. 今後の方針(案)について

(ア) 利用者等アンケートの実施及び結果

同路線の利用が低迷している状況下において、運行事業者である株式会社中国バスが7月に「利用者等アンケート」を実施した結果、次のような意見・要望がありました。

| 要望・その他 | 件数 | 備考 |
|------------|----|--|
| 路線全体に関するもの | 14 | 継続希望 13件 利用しない 1件 |
| 運賃に関するもの | 16 | 適当・低い 2件 高い 14件 |
| 時刻に関するもの | 19 | 適当 1件 出発時間変更 11件 ・その他 7件 |
| 経路に関するもの | 10 | ・三良坂商店街経由 2件 ・三次駅 中央病院 2件 ・三次市役所経由 1件 ・その他 5件 |
| その他 | | ・バスのデザインを目立つものにしたら ・吉舎・三良坂域でのPR不足 ・自家用車が運転できる間は利用しない |

朝始発便を遅く
最終便を早く

【アンケート結果検証】

- ・現在、利用している方は、継続運行を強く望まれている。
- ・運賃は高いと考えられている方が多い。(JR運賃との比較)
- ・7時15分発便は、早いとの意見が多い。
- ・19時10分発便は、遅いとの意見が多い。
- ・三良坂商店街の運行を望まれている。

【市の考え方】

- ・午前便及び12時台の帰便の平均乗車密度は1.0人を越えており、ダイヤ等の設定、PR次第では、利用者が増えることが期待できる。
- ・冬季の利用状況を把握したい。(年間を通じての利用状況)

【今後の方針】

- 10月1日(木)から新たな経路及びダイヤにて試験運行を継続する。(6ヶ月間)

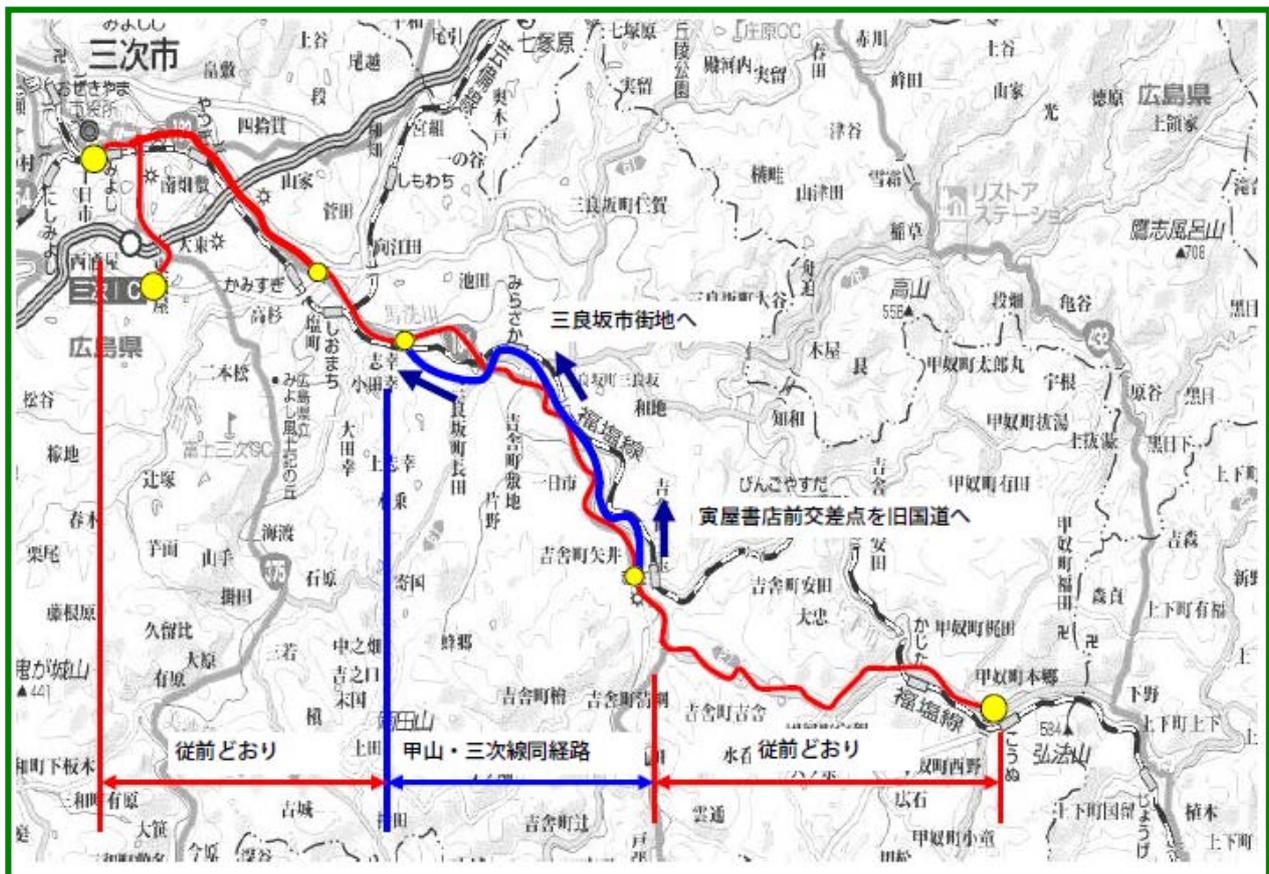
(イ) 継続(変更路線)計画

【変更要因及び変更】

- ・通学での利用がない。
- ・利用者ニーズと比べて始発便の時間が早い。(アンケート結果から)
三次行き便は、自ら移動手段を持たない高齢の方を中心とした時刻設定を行う。
- ・利用者ニーズと比べて最終便の時間が遅い。(アンケート結果から)
甲奴行き最終便は、JRダイヤ(16:37発,18:38発)の間,17時台に設定し,出発時間を早める。
- ・吉舎町域,三良坂町域で利用ニーズはあるが交通状況や道路構造から,他のバス停が設定できない。
経路は,吉舎町域及び三良坂間を「甲山・三次線」と同様とし,三次行きの選択肢を増やすことにあわせてわかりやすいダイヤとし,利便性の向上を図り利用率アップをめざす。
- ・その他
JRダイヤとの競合を避ける。
既存路線「甲山・三次線」への影響を極力避ける。

変更経路について

- ・甲奴駅前を起点とし,吉舎・三良坂(旧道)を經由,市立三次中央病院から三次駅
(吉舎町域は旧国道,三良坂町域は駅前を運行することにより,沿線地域では増便となり,利便性が向上するとともに,わかりやすい路線体系となります。)



【変更路線図】

変更ダイヤについて

- ・甲奴駅前発をJR福塩線との競合を避け、三次行き7時35分の次発となるよう7時50分に設定し、9時前に中央病院に到着することにより、朝時間に余裕を持たせる。
- ・三次駅発19時10分便を約2時間早め、JR福塩線16時37分発府中行き、同じく同線の18時38分の間に設定、中国バス甲山三次線18時11分と調整した17時15分発に変更することにより、用務等を終えて三次市街地から帰宅する方ニーズを各モードで補完しあうことにより、公共交通機関の利用者の利便性向上を図ります。[別紙資料2](#)

変更運賃について

- ・[別紙資料3](#)の運賃表のとおりとします。

停留所（バス停）の変更について

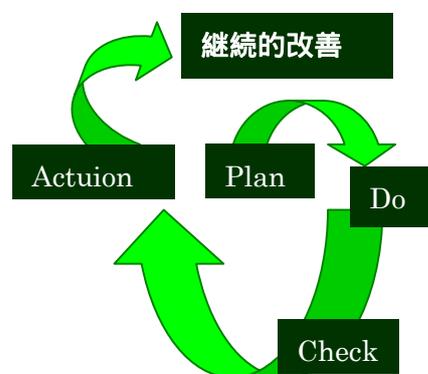
- ・[別紙資料4](#)のとおりとします。

【Plan】 甲奴町域から乗り継ぎなしで、通学時間や開院時間に合わせた移動手段を確立したい。

【Do】 甲奴町域から路線バスの実証運行を行う。平均乗車密度2.0人以上は確保したい。

【Check】 利用状況を調べたところ、通学での利用がほとんどなく、4ヶ月の平均乗車密度が0.81人であった。

【Action】 実績や利用者等アンケートの結果を基に、ダイヤや一部経路を変更して継続調査を行う。



(2) 三次市地域公共交通総合連携計画策定調査委託業務について（調査の進め方）

- ア. 調査の目的とフロー(案)について ・ [別紙資料5](#)
- イ. 調査の進め方(案)について ・ [別紙資料5](#) , [別紙資料6](#)
- ウ. 調査のスケジュール(案)について ・ [別紙資料5](#) , [別紙資料7](#)
- エ. その他(三次市の公共交通の現状と課題) ・ [参考資料](#)

(3) その他